

アジア研修プログラム

KAIL Training Program in Asia

# 2025年度 ベトナム・スタディ・プログラム

参加者募集のご案内

事前研修1日／ベトナム5泊6日／事後研修1日

2025年11月25日(火)／ 2026年1月12日(月)～1月18日(日) ／2月26日(木)

＜旅行主催・企画実施＞

株式会社西鉄旅行

TEL : 092-525-2211

FAX : 092-525-3937

＜研修主催＞

特定非営利活動法人九州・アジア経営塾

TEL : 092-726-1861

E-mail : asia@kail.jp

# KAIL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

## 九州・アジア経営塾〔KAIL〕とは

九州から、アジアや世界で活躍できる次世代リーダーを育成するのが、九州・アジア経営塾〔KAIL〕です。KAILではビジネスの現場で活かせる知恵に加え、リーダーに必要な矜持を持って事にあたる「志」教育を行っています。

2004年の建塾から20年の歴史を重ね、現在、多くの卒塾生が九州経済の発展のため、また、社会への貢献のため、九州のみならず全国、さらには世界各地で活躍しています。

## アジア研修プログラムの目的

親日家が多い東南アジアの国々では、いかにビジネスリーダーが国の発展のために貢献しているのか。彼らは日本をどう思っているのか。その現場を歩き、日本はアジアの国々を相手にいかにビジネスを行えばよいのかを考えます。多様性が求められる今、アジアの国々はどのように人種や宗教などの違いを認め、ビジネスを成功させているのかも学びます。そして、九州は本当に国際化しているのか。自分や組織のあり方を再考し、将来を担うグローバルな視点を持ったリーダーへのステップアップの機会とします。

## アジア研修プログラムで何を学ぶか

### ■これまでの仕事の振り返りと将来に向けた目標設定

- \* 出発前に所属組織でのこれまでの仕事を振り返り、何が成果で、課題は何かを考えます。
- \* 仕事だけでなく、人生における目標を立てます。
- \* 立てた目標をじっくり考えながら、現地で人々がビジネスの現場でどう生きているのかを見て、聞いて、観察しながら、自分はどうすべきかを改めて考えます。
- \* 帰国して、研修を振り返り、事前研修で立てた今後の目標を再考します。

### ■フィールドワークはチームビルディングと国際化への一歩

- \* 現地では、チーム単位で企業を選定し、1日かけて現地のビジネスリサーチを行います。
- \* 事前準備を通して、企画力・リサーチ力・交渉力を養います。様々な分野で活躍する研修メンバーとのチームビルディングの大切さを学びます。
- \* 将来、アジアでビジネスをするためにも英語は必須です。日系企業だけでなく、英語しか通じない現地企業訪問にもチャレンジしてほしいと期待しています。

### ■講師に積極的に発言し、研修内容を文章にまとめ、表現能力と考える力を養う

- \* 研修中は各分野の第一線で活躍するリーダーの講義を聞き、質問をします。
- \* 講義やフィールドワークで何を学んだのか、研修結果を今後の仕事にどう活かすか、また、自分の組織をよくするためにどう活かしていくのかを、報告書の形でまとめます。
- \* 事後研修では、フィールドワークのチーム発表に加え、今後の仕事や人生への決意表明を行います。

## ベトナム・スタディ・プログラムの構成

### ■事前研修（2025年11月25日(火) 会場：電気ビル共創館）

- \* アジア研修プログラムの目的について、しっかり学び、自分自身の目標設定を行います。
- \* ベトナムについての歴史・文化・政治や経済などについてのレクチャーを行います。
- \* 現地での講師の説明を行います。
- \* フィールドワークに向けて準備（チーム編成・テーマ選定・役割分担など）を行います。

### ■ベトナム現地スタディプログラムの概要

- \* 現地政財界要人からリーダーシップなどについて講義を受けます。
- \* 現地企業・団体を訪問し、ビジネスの現場を学びます。
- \* 九州からの現地進出企業や、ベトナムの同世代との意見交換を行います。
- \* フィールドワークでは、研修生のみでチームごとに1日かけてビジネスリサーチを行います。
- \* ベトナムの歴史や文化を学びます。

### ■事後研修（2026年2月26日(木) 会場：電気ビル共創館）

- \* チームごとにフィールドワークの結果報告を行います。
- \* 研修を通して考えた仕事に対する向き合い方、自分のあるべき姿、所属組織や社会への貢献のあり方など、具体的に今後、どう取り組み、実現させていくのか、決意表明を全員の前で行います。
- \* 研修効果を理解いただくため、派遣元企業・団体の人事担当者にご出席をお願いします。



※写真は昨年度実施の様子

## 加藤暁子・KAIL アドバイザーが監修

東南アジアは親日国が多く、日本企業が多く進出し、日本政府が最も関係を深めている地域です。とりわけベトナムは近年、顕著な経済成長を果たし多くの日系企業が進出ししている日本にとって注目する国です。第二次世界大戦後、米国との「ベトナム戦争」中国との「中越戦争」にも勝ち、小国でありながら超大国に勝利した稀有な国です。

最近のトランプ関税においても米国がベトナムからの輸入品に対して20%の関税を課す一方、米国が懸念していた中国からの迂回輸出への警戒感を和らげるため、ベトナム経由の第三国からの輸入品には40%の関税を課し、米国からの輸入品への関税を撤廃することで7月2日に早々と合意に達しました。当初米国から46%の関税を要求されたのが大幅に引き下げられました。

一方、中国とは習近平国家主席が訪越。中国とハノイ・ハイフォンを結ぶ標準軌鉄道の建設促進や多角的貿易体制の維持などで合意して、バランスを考慮しています。ベトナムの交渉術から学ぶべきところが私たちにたくさんあります。

私は毎日新聞香港支局特派員として1990年代後半にアジア全域の経済を担当しました。ベトナムは1986年にドイモイ（刷新）政策により資本主義的な経済政策を導入し、90年代後半にアジア通貨危機の影響を受けたものの、2000年代にかけて高成長を成し遂げ、2010年に中所得国の仲間入りをしました。2024年には一人当たりGDPは4700ドル、現在、ベトナムに進出している日系企業は2000社を超えています。

ベトナムの最高指導部は「四柱」（共産党書記長、国家主席、首相、国会議長）による集団指導体制をとり、2024年夏以降、トー・ラム新書記長のもと新体制へ移行し、「反・浪費」を打ち出し、組織の合理化や行政効率化、大規模な政治や行政機構の再編を進め、今年は中央小省庁や党組織の再編を実施しています。2025年は8%、2026年から30年に向けて10%の経済成長に向け、民間企業の育成と活性化方針も示しています。

世界は今、地球温暖化、戦争や紛争などに直面し、ビジネスはおろか、生きること自体に危機が迫っています。次に何が起こり、今、何をしないといけないのか。先手を打って戦略を打たなければ日本は今の繁栄を維持することは不可能です。ベトナム政府を含め、ベトナムに投資している企業が日本に何を望んでいるのか。自分の目で見て、耳で聞いて、九州や日本は何をすべきか。この機会に研修生が真剣に考える機会となればと思っています。私自身、これまで培った人脈と、20年間人財教育に携わったリーダーシップ教育の経験を生かしてたった1週間ですが、必ずや皆さまの大事な社員・職員が次世代リーダーとしての自覚を持ち、活躍できるように誠心誠意取り組んでいきます。

### <略歴>

1982年 4月 (株)毎日新聞社入社、福岡総局を初任地に東京経済部で大蔵省・経済企画庁・東証・自動車を担当。その後外信部記者。  
1996年 4月 同社香港特派員としてアジア全域の経済分野をカバー、その後香港支局長  
2001年 10月 毎日新聞退社後、慶応義塾大学グローバルセキュリティ研究所研究員  
2004年 7月 日本の次世代リーダー養成塾事務局長  
2010年 4月 日本の次世代リーダー養成塾専務理事兼事務局長（現任）  
2011年 4月 NPO法人九州・アジア経営塾アドバイザー（現任）  
2016年 7月 公益財団法人A F S日本協会理事長（現任）  
2023年 6月 株式会社九州リースサービス社外取締役（現任）  
2025年 3月 株式会社正興電機製作所社外取締役（現任）



## 募集要項

- 対象者：将来の組織を担うリーダー又はリーダー候補
- 研修期間：2026年1月12日(月)～1月18日(日) 5泊6日
- 訪問都市：ハノイ・ホーチミン（ベトナム）
- 募集人員：20名（最少催行人員14名）※定員に達し次第締め切り
- 研修旅行代金：530,000円（各国空港諸税、燃油サーチャージ込）
- 申込締切日：2025年11月12日（水）※参加可否のご連絡：10月末
- 利用航空会社：ベトナム航空 エコノミークラス
- 宿泊ホテル：五つ星ホテル（シングル利用）
- 添乗員：福岡空港から同行します
- 食事条件：朝食4回 昼食3回 夕食4回（機内食除く）
- 研修旅行代金に含まれるもの
  - ・行程中の講義受講、企業訪問にかかる費用
  - ・行程中の航空運賃、バス運賃、宿泊料金（2名1室：1名利用）
  - ・行程表に明示した食事、入場料
  - ・添乗員、ガイド費用
  - ・行程中のサービス料、チップ
- 研修旅行代金に含まれないもの
  - ・フィールドワーク中の費用
  - ・渡航手続諸費用（旅券取得等）
  - ・超過手荷物運搬費用
  - ・海外旅行保険代（任意）
  - ・お食事の際の飲物代
  - ・個人的にご利用の諸費用

※研修旅行ご参加には2026年7月12日まで有効なパスポートが必要です

※KAILホームページ（アジア研修プログラムページ）よりお申込みください



### ハノイ予定ホテル

#### 「HANOI SPLENDID PREMIUM」

ハノイの中心部にあるHanoi Splendid Premium Hotelは庭、テラス、バーを提供しており、タンロン水上人形劇場まで徒歩2分です。

※ホテルは変わる場合がございます。

KAIL





今年度スタディツアー行程表

時間帯の目安 午前(8:00~12:00) 午後(12:00~16:00)

| 日次 | 月日           | 訪問地                | 時間                                       | 運送機関                                      | 行程                                                                                  | 食事                          |
|----|--------------|--------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 1  | 1/12<br>(月祝) | 福岡発<br><br>ハノイ着    | 10:00<br><br>12:55<br>15:00<br><br>16:00 | ベトナム航空<br>(VN357)<br><br>専用バス             | 福岡空港出発<br><br><br>ホテルチェックイン<br><br>JETRO 小篠春彦ハノイ所長講義<br>夕食後、ホテルチェックイン<br><br><ハノイ泊> | 朝:各自<br>昼:機内<br>夕:レストラン     |
| 2  | 1/13<br>(火)  | ハノイ                | 午前<br><br>午後                             | 専用バス<br><br>専用バス                          | パナソニック研究開発 (R&D)<br><br>日本大使館<br>企業訪問<br><br><ハノイ泊>                                 | 朝:ホテル<br>昼:レストラン<br>夕:レストラン |
| 3  | 1/14<br>(水)  | ハノイ                | 午前<br><br>午後                             | 専用バス<br><br>専用バス                          | Hanoi 人民委員会 (市政府) の鉄道総局<br><br>企業訪問<br><br><ハノイ泊>                                   | 朝:ホテル<br>昼:レストラン<br>夕:レストラン |
| 4  | 1/15<br>(木)  | ハノイ                | 終日                                       | 各自手配                                      | フィールドワーク<br><br><ハノイ泊>                                                              | 朝:ホテル<br>昼:各自<br>夕:各自       |
| 5  | 1/16<br>(金)  | ハノイ発<br><br>ホーチミン着 | 8:00<br><br>10:10<br><br><br>午前<br>午後    | ベトナム航空<br>(VN245)<br><br><br>専用バス<br>専用バス | <br><br><br>企業訪問 (ロイヤルHD等)<br><br>企業訪問 (東急ガーデンシティ等)<br><br><ホーチミン泊>                 | 朝:ホテル<br>昼:レストラン<br>夕:レストラン |
| 6  | 1/17<br>(土)  | ホーチミン              | 午前<br><br>午後                             | 専用バス                                      | クチ・地下トンネル<br><br>文化体験                                                               | 朝:ホテル<br>昼:レストラン<br>夕:レストラン |
| 6  | 1/18<br>(日)  | ホーチミン発<br><br>福岡着  | 0:45<br><br>7:35                         | ベトナム航空<br>(VN350)                         | タンソンニャット空港出発<br><br>福岡着                                                             | 朝:機内                        |

※航空機・天候・現地事情により 訪問箇所 順序及び 発着時間などが変更になる場合がございます。  
※お泊りのホテルのお部屋グレード指定はできません。 ※ビジネスクラスを希望の場合はご相談ください。

旅行条件(要旨) ■詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申込ください。

●この旅行は西鉄旅行株式会社旅行企画・実施する旅行で、ご参加いただくお客様は当社と専業旅行契約(以下、「旅行契約」という)を締結することになります。ご旅行契約の内容・条件はパンフレットによる他、別途お渡しする確定書面(最終旅行日程表)及び国土交通省認可の当社旅行約款(旅行約款の部)によります。取引条件説明書面および契約書面の一部(以下旅行条件書とします)は、旅行開始の程、必ずお受け取り下さい。  
●ここに記載のない事項は当社旅行約款(旅行契約の部)によります。  
■旅行契約の成立時点…旅行契約は、当社らが契約の締結を承諾し申込金または旅行代金を受領した時に成立します(通信契約の場合を除きます)。  
■旅行代金のお支払い…1. 旅行代金とは、基本旅行代金のほか、パンフレットに表示した一人部屋追加代金、食事追加代金、宿泊の延長追加代金等、当社がパンフレット等で「追加代金」と称するものを含みます。2. 旅行代金は当社が指定する期日までに全額お支払いください。  
■旅行代金に含まれるもの…旅行日程に明示した航空運賃及び船舶・鉄道運賃等、旅行日程に明示した送迎バスなどの料金、旅行日程に明示した観光等に使用するバス料金、ガイド料金、入場料等、宿泊料金、税、サービス料(二人部屋をお二人様で使用が基準)、食事料金、交流会費用、税、サービス料、団体行動のチップ、添乗員付コースの添乗員の同行費用、視察訪問先への土産代、なおこれらの諸費用はお客様の都合により一部利用されなくても払い戻しは致しません。  
■旅行代金に含まれないもの…超過手荷物料金、クリーニング代、電話電報料、ホテルの従業員へのチップ、その他追加料金等個人的性質の諸費用  
■旅行契約の解除…お客様は一定の場合を除き、次に定める取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除できます。

| 取消料の期日                           | 取消料        |
|----------------------------------|------------|
| (1) 旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以前 | 50,000円。   |
| (2) 旅行開始日の前日から起算して遡って14日目にあたる日以前 | 旅行代金の30%。  |
| (3) 旅行開始日の前々日〜当日                 | 旅行代金の50%。  |
| (4) 旅行開始日又は無断で不参加                | 旅行代金の100%。 |

■特別補償…当社はお客様が旅行参加中に、急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体または手荷物を被った一定の損害について、当社の旅行約款(特別補償規定の部)により、一定の保証金及び見舞金を支払います。  
■旅程保証…当社は、別途定める契約内容の重要な変更が生じた場合、旅行代金に一定の定率を乗じた変更補償金をお支払いいたします。詳しくは別途交付する旅行条件書(全文)でご確認ください。  
■その他…1. 上記の旅行代金は、2024年9月31日の運賃・料金を基準としています。2. 旅行の再実施はいたしません。3. 旅行契約の範囲は、パンフレットに明示された発着空港または国際線発着地から出発〜帰着の区間に限ります。

旅行企画・実施

＜お申込み・お問合せ先＞

 **西鉄旅行株式会社**

観光庁長官登録旅行業第579号

 **ボンド保証会員**  
(社)日本旅行業協会会員

 旅行業公正取引  
協議会 会員

〒810-0014 福岡市中央区平尾 1-3-11

**TEL 092-525-2211** FAX 092-525-3937

総合旅行業務取扱管理者 後藤 圭亮

担当: 松田 聡

E-mail [satoshi.matsuda.zp@nnr-g.com](mailto:satoshi.matsuda.zp@nnr-g.com)

営業時間 平日: 9:30~17:30 土曜、日祭日: 休

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引の責任者です。この旅行契約に関して担当者からの説明に不明な点があれば、ご遠慮なく総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。